

【津田 祐先生・青木健治先生抄録】

【セットアップモデルが導く包括治療のゴール】

長期的に予知性の高い歯科治療を行う上で、「歯の位置」は非常に重要なファクターであり、それを改善するための選択肢の一つが矯正治療である。歯の数や形が正常な天然歯列において矯正医は頭の中で治療ゴールを設定することが多いが、「補綴予定歯が多数存在する」・「欠損が存在する」場合など、治療ゴールを頭の中だけでは設定することが困難な症例も存在する。良好なインターディシプリナリー治療を行うためには矯正医・補綴医とそれに携わる歯科技工士が自分以外の領域の知識を知ることが重要であり、我々がコミュニケーションをとる上で重要視している共通認識や基礎知識について述べさせていただくとともに、治療ゴールを具現化する診断用セットアップモデルについて、実際にどのようなコミュニケーションをとりながらどのようなタイミングで行っているか等について症例を交えながら解説したい。